

## 東Ⅰ病棟（AYA 世代病棟）

16歳～39歳の思春期・若年層を対象に受け入れており、学生や就労されている方が多いため、入院初期から多職種と協働し定期的なカンファレンスや、地域の医療・保健福祉・学校及び就労関係者との連携を行い、退院後スムーズに学業及び地域生活へ移行できるように支援しています。



\*病棟内には思春期にも対応できるように、学習室や卓球・ピアノなど活動できる環境を準備し、個人で使用できるユニットバスもあります。また、外部の音が遮断された静かな環境で過ごしたいときや、ストレスを発散することで落ち着くことを目的にしたいときに使用できる「クールダウン室」も設置しています。

AYA 世代病棟には、逆境的小児期体験の影響を受けた方が多くおられます。そこで、安心して入院生活が送れるようにスタッフと患者さんが協働することで安心安全な環境を創造できるよう取り組んでいます。具体的には、四季を感じられるように病棟を彩る活動等を通し、患者さんのアイデアや想いを取り入れる環境づくりを意識しています。



病棟プログラムでは、作業療法士と協働しスポーツや園芸などの活動や、多職種による「おはなし会」で社会生活に必要な問題解決への支援を行っています。また、スタッフとの関わりを通して、安心できる人との関わり方や適切な対人関係スキルの獲得の支援を行っています。

退院に向けてテキストなど使いながら多職種で困りごとの解決に向けた支援をしており、本人・ご家族へ疾患や特性を理解し社会復帰に向けたリカバリーに取り組んでいます。

